令和6年能登半島地震 新潟県内の地震被害調査 (速報)

東京大学 生産技術研究所 清田 隆•栗間 淳



★ 長岡技術科学大学 池田隆明・志賀正崇



被害調査の概要

調査期間

• 令和6年1月10日、11日

調査メンバー

- 清田 隆 (東京大学生産技術研究所)
- 栗間 淳 (東京大学生産技術研究所)
- 池田 隆明 (長岡技術科学大学)
- 志賀 正崇 (長岡技術科学大学)

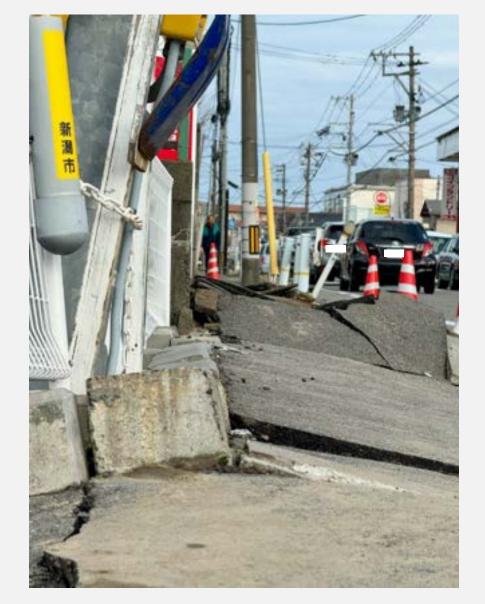
主な調査地点

- 新潟県新潟市
- 新潟県上越市
- 新潟県糸魚川市

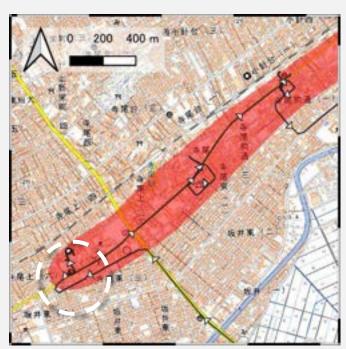




新潟市西区 寺尾上







県道16号の北東側 (砂丘高地側)で舗装の圧縮ひび割れや 破壊が顕著

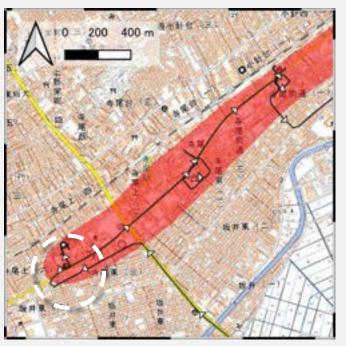




新潟市西区 寺尾上







県道16号に平行な道路も舗 装の引張亀裂や建物の傾斜 が確認

1/2時点でも傾斜や変形が徐々に進行中(地元の住民の方の証言)

新潟市西区 寺尾東・寺尾

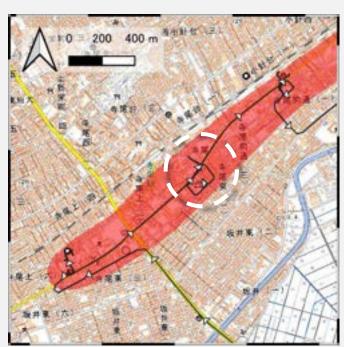






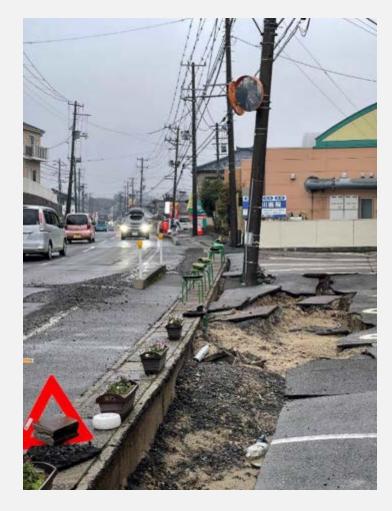
県道16号から南東側の低地に向かって低層住宅・商店の基礎地盤の滑動、および舗装の亀裂・破壊が確認













Google street. 地震前

県道16号の南東側歩道に面する敷地・宅地では地盤変状が目立つ 16号北側の急勾配の砂丘がせり出している箇所は変状なし





県道16号(南東側)に面する住宅周辺に噴砂の痕跡。住宅は20cm程度沈下 県道16号北側敷地でも、後輩湿地に相当する低地では噴砂が生じる(粒度試験実施)





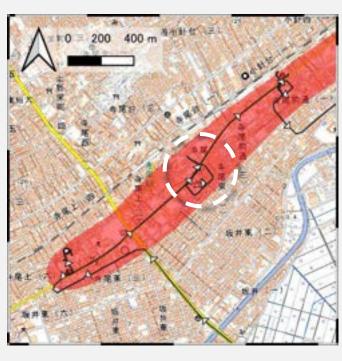


県道16号(南東側)に直行する生活道路沿いでも地盤変状と住宅の沈下・傾斜

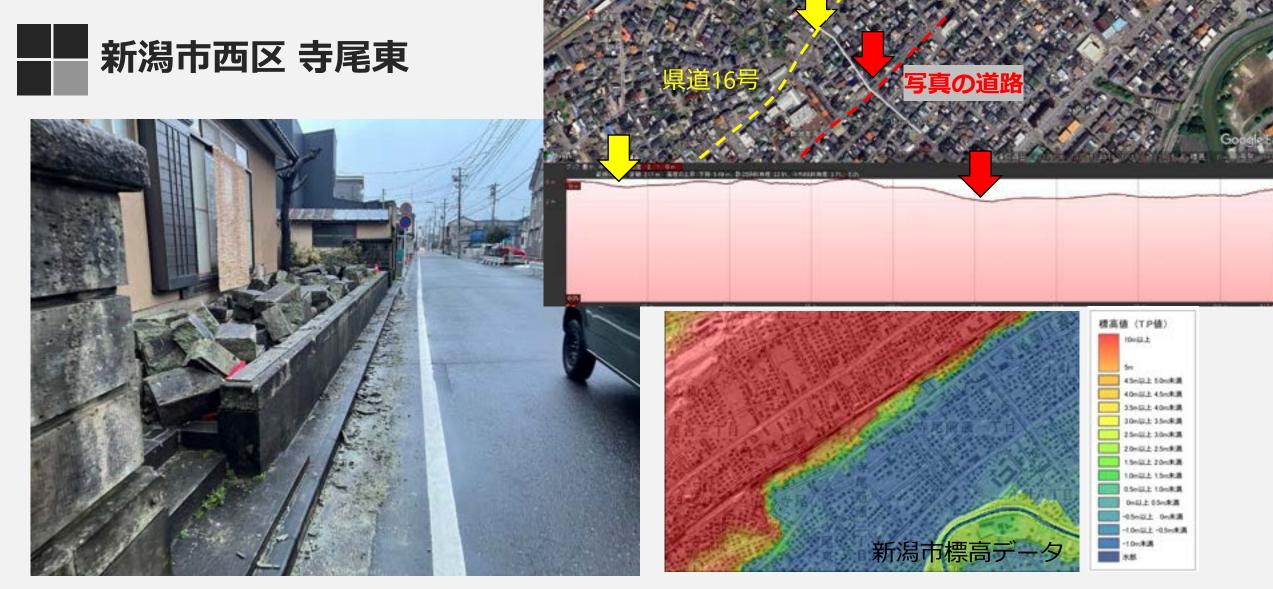








控壁や鉄筋による補強がないブロック塀の転倒



県道16号の南50mに平行する道路沿いでは、ブロック塀の被害はみられるが地盤変状・液状化の痕跡は確認されず。 県道16号(黄色矢印)と並行する道路(赤矢印)の比高は1.5m程度(google earth)であり、液状化し易い砂丘斜 面が赤矢印までは連続していないと解釈できる。





県道16号の北側の砂丘の擁壁が傾斜(脚部が前面に移動)。擁壁で支えられていた宅地地盤が沈下。 この住宅の裏のアンカー擁壁も前面に押し出されている。

明瞭な地盤亀裂と変状は、階段とその西側(左側)に連続している。斜面の変状に伴い階段も傾く

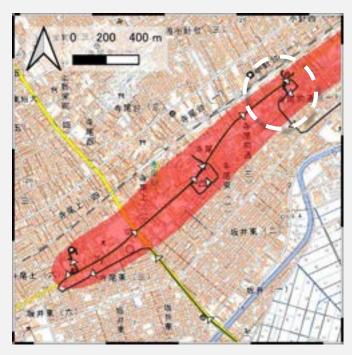


新潟市西区 寺尾 新潟西郵便局











建物周辺部の舗装の亀裂や沈下。大きな地下駐車場の影響で構造物が浮上し、周辺土砂が基礎の下に移動した可能性











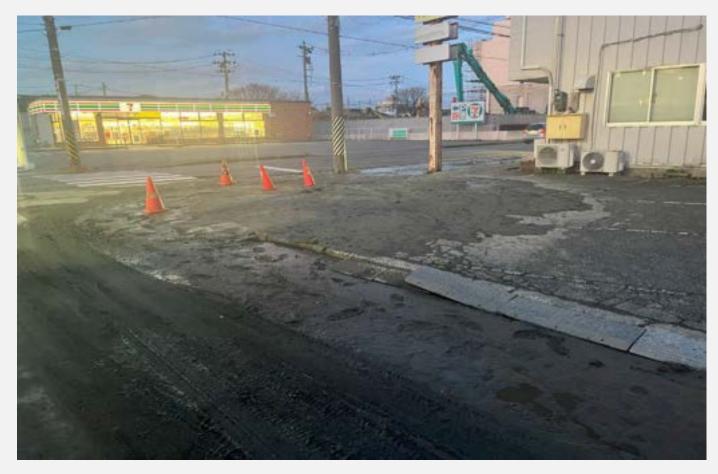
県道16号の北側の地盤(宅地・道路)では、隆起や圧縮の痕跡が多数確認された。砂丘斜面には引張亀裂やその補修が見られるため、液状化に伴う小規模の流動が発生し、比較的厚い路盤の県道で止められ、圧縮・隆起が生じたと考えられる。







新潟市中央区川岸町(川岸町アパート付近)



1964年新潟地震時にアパート転倒の被害写真が撮られた川岸町付近.本地震では構造物に大きな被害は見られず.





新潟市東区











1964年新潟地震で液状化した東区の旧河道地域を調査

1月10日時点では、明瞭な噴砂痕跡や地盤変位、建物・電柱の変状は確認されず。



新潟市西区ときめき、立仏、善久

・新潟西区ときめき,立仏,善久は治水地形分類図に示すように一本の旧河川上に位置する.



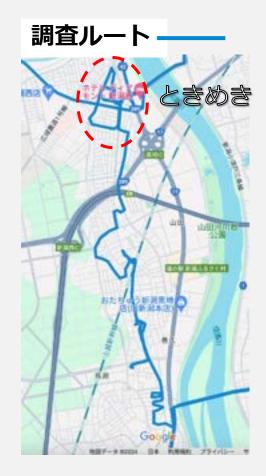


新潟市西区ときめき

道路の陥没, 噴砂, 家屋の傾斜が広く確認された.



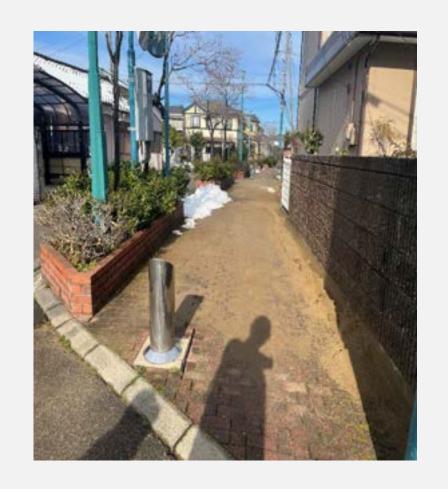






新潟市西区立仏

道路の陥没, 噴砂, 家屋の傾斜が広く確認された



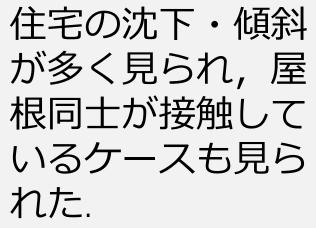






新潟市西区鳥原

















新潟市西区善久

- ・ 住宅の沈下・傾斜, 道路のひび割れ
- 橋脚の周りに噴砂が確認できたが, 橋脚 被害はなかった.
- 大量の噴砂が確認できたが, すでにかき 集められている地点もあった.













上越市直江津フェリー乗場

車両の乗降施設の損傷と舗装の亀裂・陥没 フェリーが接岸中のため、岸壁には目立った被害はないと考えられる 駐車場の舗装に軽微な沈下 乗降施設には被害は見られない







上越市五智三丁目

埋設管路に沿って道路が沈下し、マンホールが浮上(復旧工事中) 埋め戻し土のゆすり込み沈下、もしくは液状化(噴砂は未確認)が原因と考えられる 被害地点は砂州・砂丘と氾濫平野にまたがる地点 K-NET直江津までの距離は約0.9km









上越市茶屋ヶ原

海岸沿いの斜面(幅約80m、高さ約60m)が崩落し、国道8号線を閉塞 崩落場所は新潟県の危険個所(山腹崩壊危険地区)に指定





斜面崩壊の3Dモデル: https://skfb.ly/oPYDx



限定された場所で液状化が発生(液状化発生地点は後背湿地に分類されている) JMA糸魚川からの距離は約350m







後背湿地

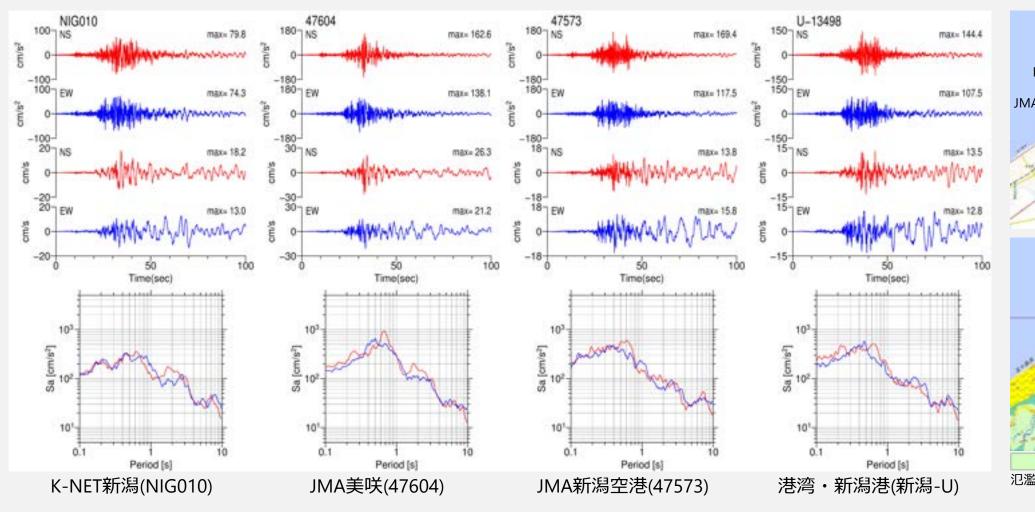


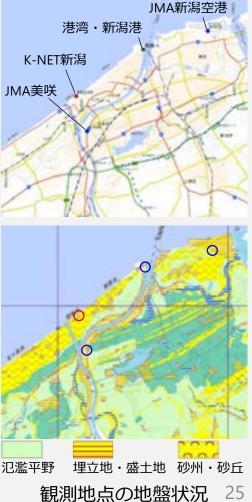
新潟市内の地震観測記録

加速度波形、速度波形、加速度応答スペクトル(減衰定数5%)

最大加速度:約170cm/s²

加速度応答スペクトル: 0.4秒~0.7秒付近に卓越が見られる





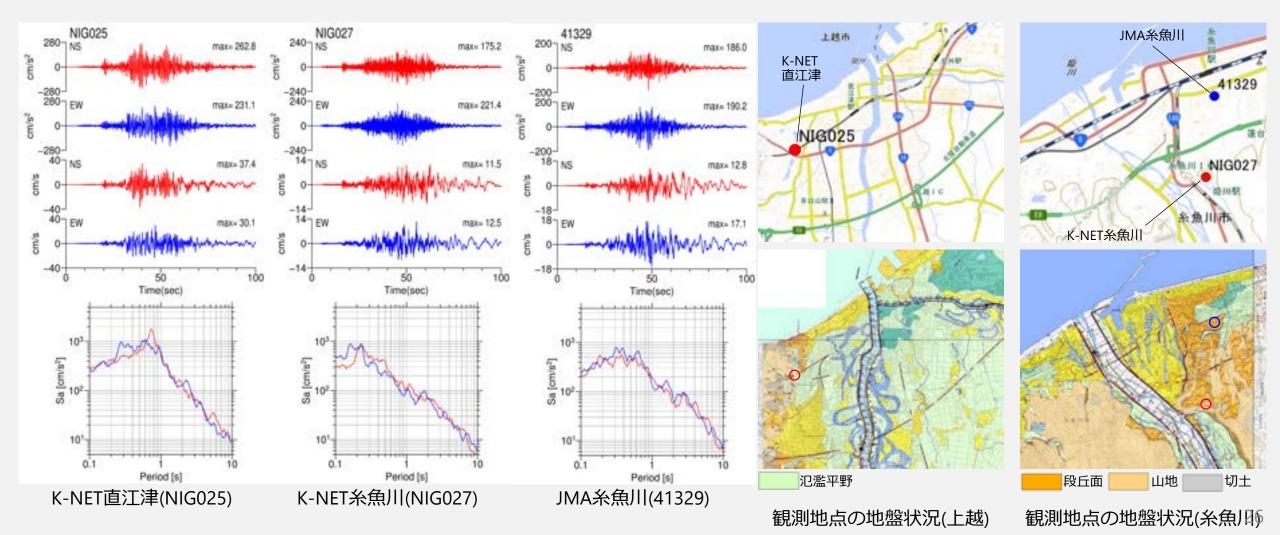


上越市および糸魚川市内の地震観測記録

加速度波形、速度波形、加速度応答スペクトル(減衰定数5%)

最大加速度:約260cm/s²(上越)、約220cm/s²(糸魚川)

K-NET直江津の加速度応答スペクトルは0.5秒~0.7秒付近に卓越が見られる





参考文献・使用データ

本調査報告書では以下のデータを使用させていただきました

・気象庁

震度情報 <u>https://www.data.jma.go.jp</u>

・国土地理院

地理院地図 https://maps.gsi.go.jp

治水地形分類図 <u>https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/fc_refer.html</u>

・防災科学技術研究所

強震観測網(K-NET、KiK-net) https://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/

• 新潟県

新潟県:土砂災害危険箇所について <u>https://www.pref.niigata.lg.jp/site/sabo/0210917.html</u>

Google

ストリートビュー